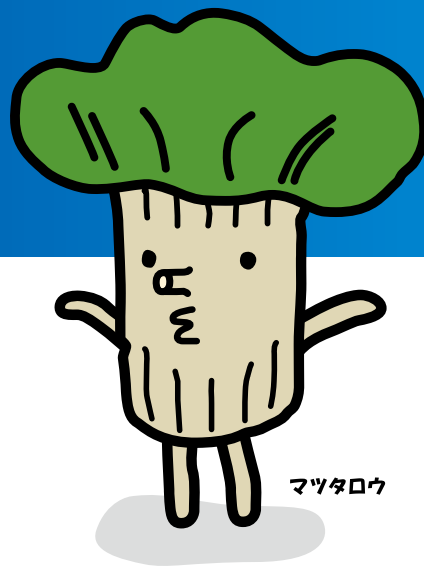


つなぐを
化学する

SPECIALITY CHEMICAL PARTNER

第86期 中間報告書

平成27年4月1日～平成27年9月30日



荒川化学工業株式会社



代表取締役社長 谷奥 勝三

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、第86期中間報告書（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期の世界経済は、米国景気が拡大基調を維持し、欧州景気が回復基調にあるなか、中国やASEAN地域の経済が減速し、全体としては緩やかな成長に留まりました。国内経済は、個人消費が横ばいとなり、回復の動きに停滞が見られました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、第3次中期経営計画の方針に沿った重点施策を進め、中国などのアジア地域ならびに欧州における事業拡大や事業開発の促進に注力してまいりました。

その結果、中国経済の減速などによる需要低迷により、売上高は伸び悩みましたが、採算性の改善に努め、当中間期の売上高は391億82百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は15億38百万円（同0.3%減）、経常利益は17億14百万円（同4.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億14百万円（同6.8%減）となりました。

なお、当中間期の配当金につきましては、1株につき15円とさせていただきます。

当第86期は第3次中期経営計画の最終年度にあたり
ます。

依然としてロジン価格は高止まりしており、原材料価格の変動や中国の景気減速等懸念要因もありますが、第3次中期経営計画で掲げた目標を達成し、平成28年

（2016年）の創業140周年を迎えるべく全社一丸となつて取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

役員一同（平成27年9月30日現在）



前列左から：延廣徹常務取締役、眞鍋好輝常務取締役、谷奥勝三代表取締役社長、宇根高司常務取締役、末村長弘取締役相談役
後列左から：辰巳純一取締役、西川学取締役、厚朴裕一常勤監査役、三王哲朗取締役、山中勝之常勤監査役、宮下泰知取締役
浅井正士社外監査役、稲波正也取締役、中務正裕社外監査役、森岡浩彦取締役、中西隆夫社外取締役

株主の皆様へ 1・2
 What is ROSIN?
 レンズ研磨にロジンが活躍 3・4
 しっかりくっついてキレイにはがれる
 事業の概況 5・6
 連結財務諸表 7・8
 Information
 山口精研工業が当社グループに！ 9
 会社概要 10

What is ROSIN?



レンズ研磨にロジンが活躍
しっかりくっついてキレイにはがれる

近くを見る部分に相当するフリント(小玉)をロジンに固着させ、研磨のためにロジンの表面だけを削る

ガラスの表面を研磨してレンズに加工する際にロジンが使われることをご存知ですか？
大阪の岸和田市に、メガネ用の二重焦点レンズを製作する工場があります。
創業時からロジンを活用し、昔ながらの製法でこのレンズを専業でつくり続けています。



ロジン(松脂を精製したもの)



フリントを並べた専用皿に熱で融かしたロジンを入れる



フリントの最終研磨



研磨終了後、裏から軽く叩いてレンズをロジンから外す

融かして、固めて、粘度は自在

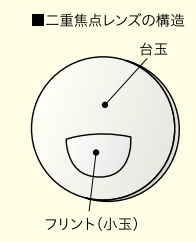
ロジンが熱され、木をいぶしたようなにおいに包まれた工場内。西田三レンズ製作所で生産される二重焦点レンズの製作工程には、ロジンが欠かせません。ロジンの役割は、研磨時のレンズの固定。レンズを並べたお椀型をした研磨用の専用皿に、熱で融かしたロジンを入れて固着させます。温度によって変化する粘度の違いをうまく利用するのです。ハイテク部品のフェライト(永久磁石)やウェハ(半導体素子製造の材料)の研磨にも仮止め材として同様にロジンが使われています。

「ロジンは、固めてはまた融かして再利用できる優れたものなのです」と代表者の西田和敬さんは言います。

二重焦点レンズとは、レンズの上側で遠くを、下側で近くを見ることができるレンズのことです。遠くを見る部分に相当する「だいだま台玉」という土台のガラスの下側に、近くを見るための少し小さいガラス片「フリント(小玉) こだま」を埋め込んで研磨。種類の違うガラスを合体させて仕上げるため、多数の工程を経て1枚1枚丁寧につくられます。現在ガラス製の二重焦点レンズをつくっている工場は、全国でも珍しい存在です。

昔ながらの貴重な技術を支えるロジン

フリントと台玉は同時進行でつくられ、途中で合体します。「ロジンが活躍するのはフリント部分の製作工程。直径3cmほどのフリントを複数枚同時に研磨するために必要なのです。しっかりくっついて、パリっときれいに剥離できるのもロジンの優れた特性です」と西田さん。役割を終えたロジンは、熱で融かしてはがす方法もありますが、工具でポンポンと軽



小さい部分を同製作所では通称「フリント」と呼んでいますが、一般的には「小玉」といいます。



二重焦点レンズ完成品(右下2枚)と、プラスチック製二重焦点レンズの型となるモールド(左上2枚)

く叩いて固体のまま手際よく外します。
ロジンは気温が低くなると固まり過ぎて乾燥しやすくなるため、トルエンを調合し、年間通して同じ状態で扱えるよう管理しているそうです。

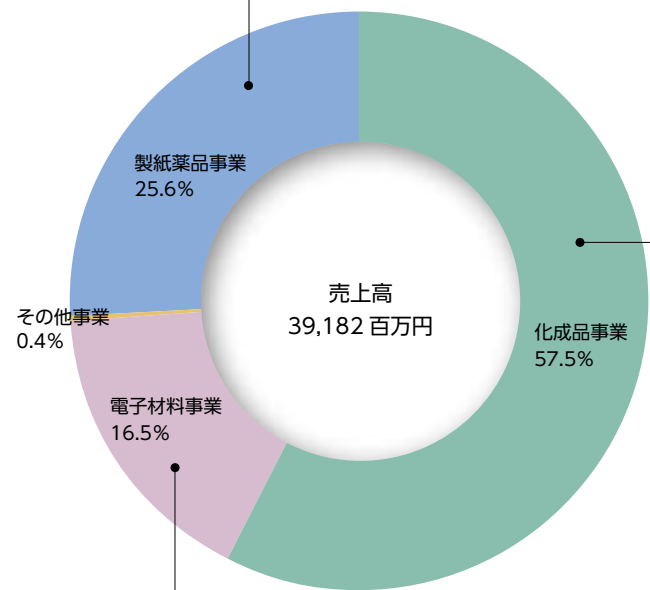
「レンズは精密な部品。それぞれの度数に合ったカーブが必要で、左右でもまた異なるので、何段階にもわたって細かく研磨しています。どんな微細な異物も許されないのでチェックも厳しく。手先、目、経験による感覚を総動員するんです」

現在は、軽く安価なプラスチック製レンズに押されてガラスレンズの受注数が減少しつつあるそうですが、こうして受け継がれている貴重な技術をロジンが支えているのです。



■取材協力
西田三レンズ製作所(大阪府岸和田市)
創業:1959(昭和34)年
代表者:西田和敬さん
二重焦点メガネレンズのほか、二重焦点レンズモールド(プラスチック製二重焦点レンズを製作するための「型」)をつくっています。





製紙薬品事業



国内製紙業界は、段ボール原紙など板紙の生産が堅調に推移しました。一方、印刷・情報用紙は、需要が低迷しました。このような環境のもと、当事業におきましては、国内販売は前年を下回りましたが、アジア地域における拡販が寄与し、海外においては増収増益となりました。

その結果、売上高は100億47百万円(前年同期比0.5%減)、セグメント利益は5億97百万円(同6.6%増)となりました。

化成品事業

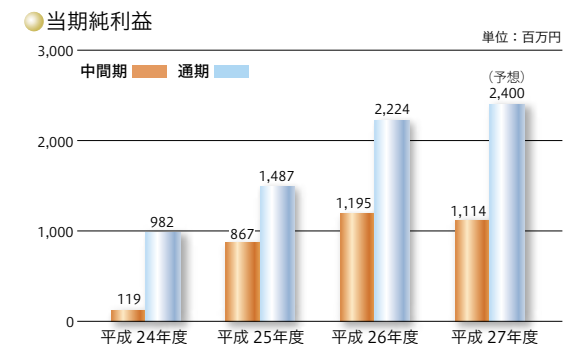
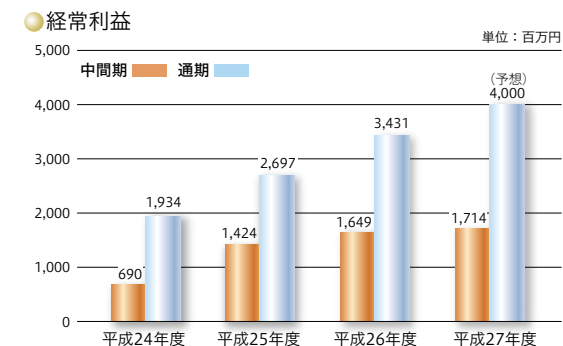
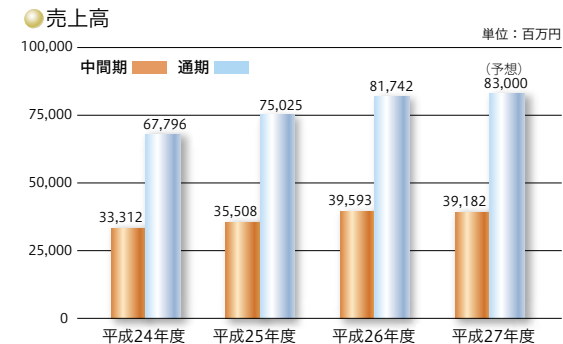


粘着・接着剤業界は、世界的に紙おむつ向け接着剤の需要が増加しております。一方、印刷インキ業界は出版・広告分野では低迷が続いております。このような環境のもと、当事業におきましては、粘着・接着剤用樹脂については欧州における需要は旺盛なもの、中国での需要低迷もあり、売上高は225億26百万円(前年同期比4.1%減)、セグメント利益は9億10百万円(同11.3%増)となりました。

電子材料事業



電子工業業界は、スマートフォンが需要を牽引しました。このような環境のもと、当事業におきましては、光硬化型樹脂等が回復傾向にあることに加え、新たに子会社化した山口精研工業株式会社の精密研磨剤が寄与し、売上高は64億50百万円(前年同期比10.3%増)、セグメント利益は前年度の損失から黒字転換し、15百万円(前年同期はセグメント損失79百万円)となりました。



連結貸借対照表

科 目	前中間期 (26.9.30 現在)	当中間期 (27.9.30 現在)	前 期 (27.3.31 現在)
[資産の部]			
流 動 資 産	53,441	56,092	56,018
現金及び預金	7,670	10,526	8,228
受取手形及び売掛金	27,969	27,757	29,649
たな卸資産	16,463	16,329	16,987
その他	1,493	1,625	1,295
貸倒引当金	△ 156	△ 146	△ 142
固 定 資 産	27,596	29,036	29,227
有形固定資産	20,309	21,285	20,827
建物及び構築物	7,652	7,948	7,793
機械装置及び運搬具	7,244	6,918	7,352
土地	4,781	5,219	4,797
その他	631	1,199	884
無形固定資産	583	1,122	571
投資その他の資産	6,702	6,627	7,828
投資有価証券	6,017	5,877	7,125
その他	697	765	717
貸倒引当金	△ 11	△ 15	△ 14
資 産 合 計	81,037	85,128	85,245

(単位：百万円)

科 目	前中間期 (26.9.30 現在)	当中間期 (27.9.30 現在)	前 期 (27.3.31 現在)
[負債の部]			
流 動 負 債	26,698	26,195	26,926
支払手形及び買掛金	11,781	10,698	11,807
短期借入金	10,441	10,554	9,592
その他	4,475	4,942	5,526
固 定 負 債	9,708	10,774	10,474
社債	5,000	5,000	5,000
長期借入金	2,171	3,504	2,683
退職給付に係る負債	858	639	813
その他	1,678	1,630	1,976
負 債 合 計	36,406	36,969	37,400
[純資産の部]			
株 主 資 本	40,111	41,911	40,893
資本金	3,184	3,284	3,192
資本剰余金	3,405	3,505	3,414
利益剰余金	33,533	35,133	34,298
自己株式	△ 11	△ 12	△ 11
その他の包括利益累計額	3,113	4,508	5,358
その他有価証券評価差額金	1,721	1,814	2,572
為替換算調整勘定	1,147	2,536	2,620
退職給付に係る調整累計額	244	157	165
新株予約権	23	17	23
非支配株主持分	1,382	1,722	1,570
純 資 産 合 計	44,630	48,159	47,845
負債純資産合計	81,037	85,128	85,245

連結損益計算書

科 目	前中間期 (26.4.1 から 26.9.30 まで)	当中間期 (27.4.1 から 27.9.30 まで)	前 期 (26.4.1 から 27.3.31 まで)
売上高	39,593	39,182	81,742
売上原価	32,238	31,415	66,777
売上総利益	7,355	7,767	14,965
販売費及び一般管理費	5,812	6,228	12,004
営業利益	1,543	1,538	2,961
営業外収益	273	468	849
営業外費用	167	292	379
経常利益	1,649	1,714	3,431
特別利益	461	127	511
特別損失	11	12	58
税金等調整前四半期(当期) 純利益	2,099	1,829	3,884
法人税、住民税及び 事業税	535	492	1,164
法人税等調整額	132	117	139
非支配株主に帰属する 四半期(当期)純利益	236	104	356
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,195	1,114	2,224

(単位：百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前中間期 (26.4.1 から 26.9.30 まで)	当中間期 (27.4.1 から 27.9.30 まで)	前 期 (26.4.1 から 27.3.31 まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,859	3,193	5,094
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 861	△ 2,481	△ 1,810
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 870	1,598	△ 2,017
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 124	69	293
現金及び現金同等物の 増加額 (△は減少額)	1,002	2,379	1,560
現金及び現金同等物の 期首残高	6,576	8,136	6,576
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	7,578	10,516	8,136

(単位：百万円)

鏡面研磨剤ひとすじに30年 山口精研工業が当社グループに!

荒川化学グループは、第3次中期経営計画において「事業開発の促進」を重点項目の一つとして掲げており、電子材料等の新分野における事業企画活動の強化に取り組んでおります。

山口精研工業株式会社は、サーバーなどに使われるハードディスク用アルミ基板やスマートフォンの周波数帯フィルターなどに使われるSAWデバイス用基板の製造工程における精密研磨に使用される研磨剤の開発、製造及び販売を行っており、鏡面研磨剤ひとすじに30年、同領域において高い実績を有している開発型企業です。



本社・大高工場
名古屋市緑区清水山二丁目1631番地 TEL.052-625-2333

このほど、当社は2015年6月12日に山口精研工業の全株式を取得し、同社は当社グループに入りました。

今後は、当社及び山口精研工業の経営資源の融合による相乗効果を早期に創出し、当社グループの事業開発をより強固なものとする事で、さらなる企業価値の向上に努めてまいります。



クラス10,000のクリーンルーム内で
研磨テストをおこなっております。



クラス1,000のクリーンルーム内で分析中

会社概要 (平成27年9月30日現在)

商号	荒川化学工業株式会社
創業	明治9年(1876年)
設立	昭和6年1月(1931年)
資本金	32億8,443万円
グループ従業員	1,411名
主な事業内容	次の製品の製造および販売 製紙用薬品、印刷インキ用樹脂、塗料用樹脂、 粘着・接着剤用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤、 光硬化型樹脂、電子材料用配合製品、精密研磨剤、 精密部品洗浄剤および洗浄装置
ホームページアドレス	http://www.arakawachem.co.jp

役員 (平成27年9月30日現在)

代表取締役社長	谷 奥 勝 三
常務取締役	眞 鍋 好 輝
常務取締役	宇 根 高 司
常務取締役	延 廣 徹
取締役相談役	末 村 長 弘
取締役	辰 巳 純 一
取締役	西 川 学
取締役	三 王 哲 朗
取締役	宮 下 泰 知
取締役	稲 波 正 也
取締役	森 岡 浩 彦
社外取締役	中 西 隆 夫
常勤監査役	山 中 勝 之
常勤監査役	厚 朴 裕 一
社外監査役	浅 井 正 士
社外監査役	中 務 正 裕

株式の状況 (平成27年9月30日現在)

発行可能株式総数	52,800,000株	
発行済株式の総数	20,515,200株	
株主数	3,342名	
大株主(上位10名)		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,553	7.58
荒川化学従業員持株会	1,163	5.68
株式会社三菱東京UFJ銀行	940	4.59
荒川壽正	584	2.85
三菱化学株式会社	406	1.98
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	400	1.95
株式会社みずほ銀行	397	1.94
株式会社三井住友銀行	396	1.93
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	391	1.91
荒川彦二	380	1.86

(注) 持株比率は、自己株式(12,521株)を控除して計算しております。

グループ会社の状況 (平成27年9月30日現在)

会社名	資本金	議決権比率
荒川ヨーロッパ社	52千ユーロ	100%
广西梧州荒川化学工業有限公司	15,000千米ドル	100%
南通荒川化学工業有限公司	8,000千米ドル	100%
ペルノックス株式会社	60百万円	100%
高压化学工業株式会社	60百万円	100%
荒川ケミカル(タイランド)社	119,000千タイバツ	100%
山口精研工業株式会社	20百万円	100%
台湾荒川化学工業股份有限公司	149,226千新台幣元	60%
荒川化学合成(上海)有限公司	3,900千米ドル	100%
荒川ケミカル(米国)社	1,400千米ドル	100%
カクタマサービス株式会社	100百万円	100%
日華荒川化学股份有限公司	25,000千新台幣元	100%
ポミラン・テクノロジー社	11,000千新台幣元	90%
香港荒川ケミカル社	4,000千米ドル	60%
廈門荒川化学工業有限公司	5,603千米ドル	間接60%

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	6月中		
基準日	定時株主総会	3月31日	
	剰余金の配当	期末	3月31日
		中間	9月30日
公告方法	日本経済新聞		
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先 (お問い合わせ先)	大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)		

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



荒川化学工業株式会社

大阪市中央区平野町1丁目3番7号 〒541-0046
電話 06-6209-8500(代表)

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



地球に優しいベジタブルインクを
使用しております。